

「首都圏外郭放水路利活用協議会」が 第11回 観光庁長官表彰を受賞

首都圏外郭放水路利活用協議会 会長（春日部市副市長）

さとう てつや
佐藤 哲也*

1. 首都圏外郭放水路 社会実験見学会

このたび、「首都圏外郭放水路利活用協議会」におきましては、第11回観光庁長官表彰を受賞いたしました。

観光庁長官表彰は、魅力ある観光地づくりやその魅力の発信、訪日外国人旅行者の誘致など、観光の振興、発展に貢献し、その業績が顕著な個人及び団体を表彰するものです。

首都圏外郭放水路利活用協議会では、埼玉県春日部市にある「防災地下神殿」とも称される「首都圏外郭放水路」を観光資源として活用し、国の防災施設としては「日本初」となる「民間運営」による社会実験見学会を平成30年8月から実施しています。

実施にあたっては、連携事業者である東武トップツアーズ株式会社が企画運営を担当し、見学会参加者に施設本来の役割や治水の必要性に加え、新たなサービスを設ける等、見学会を通じたインフラツーリズムの拡大や地域活性化に取り組んでいます。



写真-1 観光庁長官表彰 表彰式

2. 首都圏外郭放水路社会実験見学会の取組

首都圏外郭放水路利活用協議会は、首都圏外郭放水路の適正かつ公平な利用を確保し、市民の憩いの場、にぎわいの場を創出することを目的として平成30年2月15日に設立されました。

見学会の拡大にあたり、連携事業者の東武トップツアーズ株式会社と連携し、平成30年8月から社会実験見学会（第1弾）をスタートしました。

第1弾の見学会には、期間中（H30年8月～12月）の5ヶ月間で、対前年度比（民間運営前）の約3.7倍に達する35,401人の方が参加しました。

平成31年3月23日から実施している社会実験見学会（第2弾）では、これまで非公開であった施設や設備に安全対策等を講じ、新たに開放しました。

「調圧水槽」をメインとした「地下神殿コース」に加え、深さ70mの第一立坑のキャットウォークを歩く「立坑体験コース」やポンプ設備をご覧頂くことができる「ポンプ堪能コース」を設定し、より「深化」した全3コースの見学会を実施しています。

図-1 社会実験見学会（第2弾）のポスター

今後におきましても、今回の受賞を励みに更なる深化を目指し、長期的に持続可能となるようインフラツーリズムの拡大と地域振興を地元や連携事業者と一緒に進めていきたいと考えております。

*春日部市 環境経済部 観光振興課

048-736-1111 (代)